

フッ素ワックスの使用禁止について

フッ素ワックスの使用の禁止が公表され、国際レースにおいては昨シーズンよりフッ素の使用有無を測定する機器が導入されました。レースのスタート前またはゴール後において測定され、フッ素ワックス使用による失格者も出ています。

日本国内においても、今シーズンよりこの機器が導入される見通しです。また、ワクシング(スキー手入れ)用具においても除去を必要とします。フッ素ワックスの使用がなくとも、用具に過去に使用がある場合には残存している可能性があり、陽性反応が出る場合があるとのことです。

フッ素は環境のみならず身体にも有害な物質であることは明白です。新潟県の選手および関係者の皆様には、ご理解をいただき、良いシーズンを迎えていただくことを切に願います。

なお、全日本スキー連盟(SAJ)では2024年11月7日付けで、フッ素ワックスについて掲載をしております。詳細をご確認ください。<http://www.ski-japan.or.jp/game/69661/>

また、FISホームページには以下の内容を含めた掲載もありますので、ご一読いただき理解を深めていただくようお願いします。FIS：<https://www.fis-ski.com/news>

競技本部長

横山寿美子

FIS HPより抜粋(2024年10月31日付)

This is the most important thing for us. The ban is not there to punish the racers. The ban is there to have as fair a race as possible. We always work to the benefit of the athlete. The systems, the procedures, the protocols, are all for the benefit of the athlete.

(参考:訳) これは私たちにとって最も重要なことです。禁止はレーサーを罰するためのものではありません。禁止は、可能な限り公正なレースをするために存在します。私たちは常にアスリートのために働きます。システム、手順、プロトコルはすべてアスリートのためです。

FIS has clear guidelines on its website about the use of tools. Because fluor can be extremely difficult to remove, it is recommended that softer brushes and roto fleeces be replaced rather than cleaned.

(参考:訳) FISは、ツール(ワクシング用具)の使用について、ウェブサイトにも明確なガイドラインを掲載しています。フッ素は除去が非常に難しい場合があるため、柔らかいブラシやロトフリースはクリーニングではなく交換することをお勧めします。